

令和2年 12月30日

futbol y vida

Poco a poco ...
Poco a poco ...



「片倉 football carnival」第一弾が終了!!
「鍛錬期」で心身ともにタフで強くなる!!

令和二年 スケジュールが無事に終了!!

保護者の皆様、今年は大変お世話になりました!! 感謝 感謝 感謝

12月31日(木)、冬の風物詩である「第99回全国高校サッカー選手権大会」が開幕します。新型コロナウイルスの影響で令和二年度最初で最後の全国大会である選手権の頂点を目指した熱い闘い。今年は、優勝候補が各地区大会で敗退するなど波乱もありました。今大会は、優勝候補の青森山田高校を中心に、Jリーグ内定の四選手を擁する昌平高校(埼玉)、帝京長岡、東福岡高校が対抗馬として挙げられています。しかし、夏のインターハイがなく緊張感のある公式戦で選手の経験値を上げられなかった分、何処のチームもチャンスがあるという見方もできます。年明けの成人の日1月11日(月・祝)、埼玉スタジアム2002の決勝の舞台に立つのは果たしてどの二チームでしょうか?楽しみです。また、東京都代表である関東第一、堀越高校の両校には一つでも多く勝ち上がり、願わくは決勝の舞台まで駆け上がって欲しいですね。みんなで応援したいと思います。

片倉高校サッカー部、冬の恒例行事となるフェスティバル第一弾が終了!!

さて、片倉高校サッカー部は、本日の「片倉 football carnival」最終日に行われた駒場学園とのTRMをもちまして、令和二年の活動は無事に終了しました。この冬は、今のところ日没後にこそ八王子の寒さが襲ってくるものの、日中は太陽の日差しのおかげでとても暖かく感じます。運良く冬休みは天候にも恵まれ、雨も降らずに全ゲーム予定通り行うことができました。

チームは、新人戦後に怪我人や体調不良者が出て、サッカーフェスティバルではかなり厳しい台所事情の中で連日ゲームが行われました。子どもたちは一日三ゲーム出場することもありました。この時期に良くみられる光景ですが、まさに、「ピンチはチャンス!!」ですね。連日たくさんのチームに揉まれていくので自然とサッカーは上手になりますが、それ以上にこの厳しい環境をチャンスと捉え乗り越えていくと、メンタリティーもとても強く逞しくなり、不思議と子どもたちの顔つきも締まって見えてくるものです。私の指導経験上、毎年、冬に休まずに全てやり切ったものは、必ずトップチームに這い上がって来ています。現在、GKアシスタントコーチに来ている齋藤雄斗コーチ(現高三)は、一昨年、東高でGKの怪我人が続出し、一人でひと冬を越しました。その間、100試合近く出場し、その甲斐もあってなのかビックリするほどの成長を遂げ、同時にメンタリティーも強くなり、東高の守護神となりました。サッカーの神様は、いつもどこかで努力している子どもたちの姿を見えています。



<片倉 football carnival はタフで強くなる>

“片倉高校 football carnival”も人の繋がり

新人戦が終了すると次の公式戦は、四月からスタートするインターハイ予選と地区リーグ戦になります。12月～3月までの四ヶ月間は、新シーズンに向けて準備期にあたり、私のチームでは「**鍛錬期**」と呼ばれる、一年で一番厳しいトレーニング期を迎えます。特に、12月の土日と冬休みは、広いグラウンドを利用して多くのチームに参加していただき「**片倉 football carnival**」と銘打ったサッカーフェスティバルを実施しています。強豪校は、冬休みになると武者修行に出かけて行くのですが、公立高校では難しいのでこのような形式で手作りの大会で揉まれていきます。参加校は、Tリーグのチームや都大会常連校、クラブチーム、神奈川県チームなど、今まで大切に作ってきたサッカー仲間のネットワークをもとに大会を運営しています。新たな学校でも、この人との繋がりを活かし、サッカーフェスティバルを継続していきたいと思えます。

さて、先日、**東高**三年生四名（斎藤コーチ含む）が進路の合格報告とフェスティバルに参加しに訪れました。彼らのプレーは片倉の選手に大変参考になりましたが、個別にアドバイスもくれるなど離れてみて改めて分かる子どもたちの成長を感じました。片倉サッカー部でも彼らのような人間育成を目指したいですね。



<学校は変わっても教え子に変わらない>

<After the Game>

片倉高校サッカー部は、明日から五日間の休みを挟み年明けは**1月5日(火)**からのスタートとなります。このオフ期間は、日頃、思う存分サッカーをやらせていただいている**感謝**の気持ちを各家庭に於いて子どもたちが行動で示す時であります。大晦日の大掃除やお正月の準備などの力仕事はトレーニングの成果を発揮できると思えますので子どもたちをコキ使ってやってください

さて、令和二年は、新型コロナウイルスの影響を多大に受けた一年間となりました。昨年度末からの学校休校により新年度も再開は六月からと今まで経験したことのない状況下での学校生活を送ってきました。現在も、感染者の数は増えていて、依然収束の兆しは見られませんが、来年はいい年になるよう願うばかりです。

保護者の皆様、今年一年、サッカー部の活動にご理解・ご協力いただきありがとうございます。引き続き宜しく願いいたします。それでは、良い年をお迎えください!!

